



平成 29 年 11 月 2 日

各位

会社名 株式会社 ラック
代表者名 代表取締役社長 西本 逸郎
(JASDAQ・コード番号: 3857)
問合せ先 執行役員 経営企画部長
丹代 武
電 話 0 3 - 6 7 5 7 - 0 1 0 7

第 2 四半期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 10 日に公表しました平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想につきまして、実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 差異の内容

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績の前回予想と実績

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A) (平成 29 年 5 月 10 日)	17,830	150	140	10	円 銭 0.39
実績 (B)	17,919	299	295	92	円 銭 3.66
増減額 (B - A)	89	149	155	82	—
増減率	0.5%	99.4%	110.8%	829.3%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間)	17,228	545	486	209	円 銭 8.26

2. 差異の理由

セキュリティソリューションサービス事業 (SSS 事業) は、サイバーセキュリティ対策への需要は引き続き拡大しており、前年同期に比べ大幅増収となっているものの、セキュリティ製品販売が計画したほどは伸長しなかったこと、セキュリティ運用監視サービスにおける一部大手顧客での監視センターの企業内構築に伴う解約や新規顧客の獲得遅れなどにより、売上が計画を下回りました。システムインテグレーションサービス事業 (SIS 事業) は、開発サービスにおいて当期から開始した政府系金融業向けの新規大型案件が売上に寄与するとともに、HW/SW販売における大型案件の獲得などもあり売上が計画を上回りました。この結果、売上高は 179 億 19 百万円 (前回予想比 89 百万円の増加) となりました。

利益面では、SSS 事業、SIS 事業ともに計画をやや上回るとともに、採用環境激化によりセキュリティ人材のキャリア採用が計画に届いていないため労務費を中心とした固定費が計画を下回り、営業利益は 2 億 99 百万円 (同 1 億 49 百万円の増加)、経常利益は 2 億 95 百万円 (同 1 億 55 百万円の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 92 百万円 (同 82 百万円の増加) となりました。

以上